

中川ルネサンスプロジェクト



中川駅前中央遊歩道ルネサンスプロジェクト会・特定非営利活動法人 I Love つづき

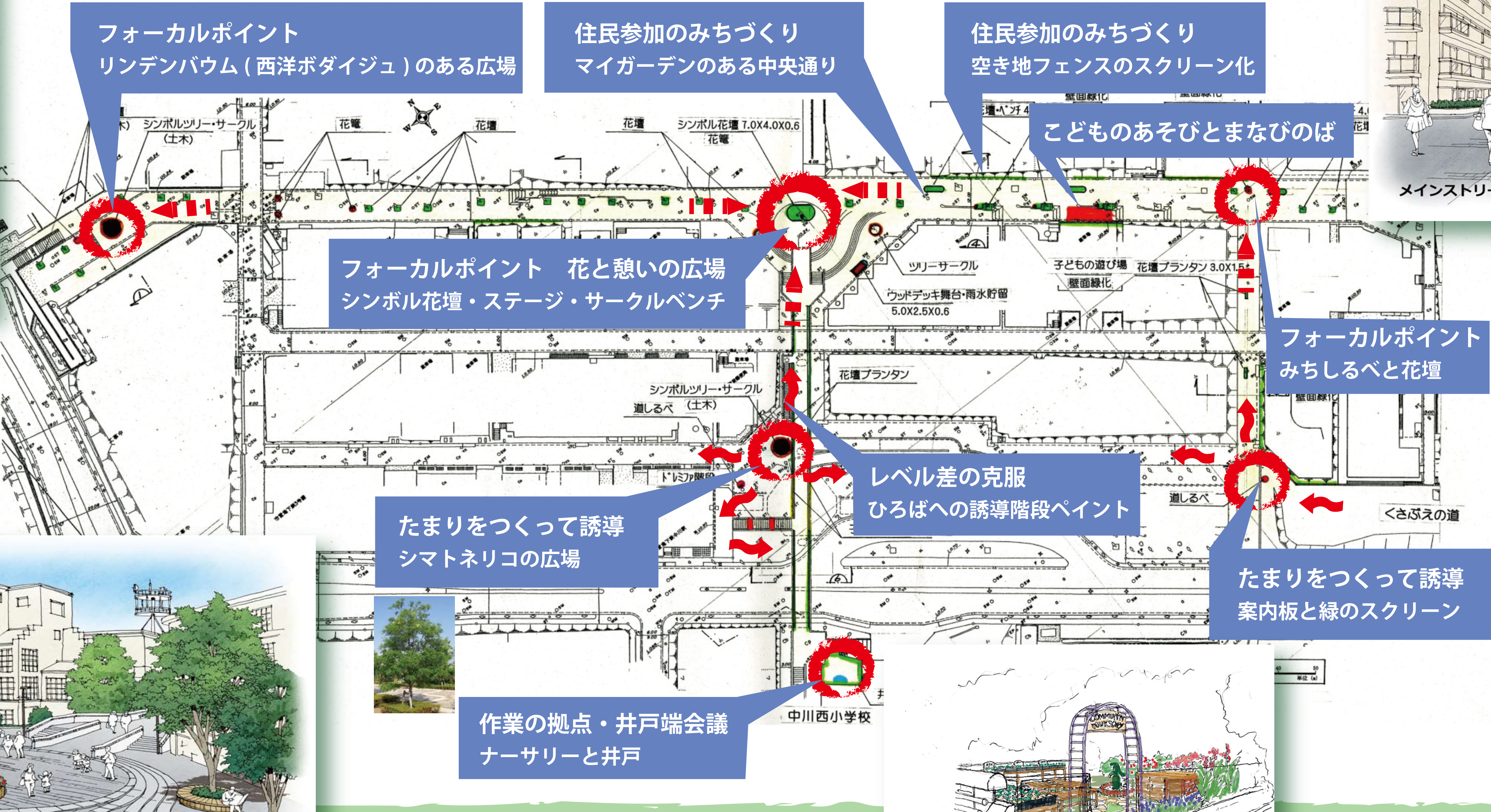


駅前とはいっても、2本の道筋違い、駅前との高低差10メートル、道幅が12メートルもある、いわゆる「商店街」のイメージからはほど遠い中川中央遊歩道は、閉店する店が相次ぎ、人通りも少なくなり、魅力もなくなりつつあります。そこで、遊歩道だけの緑化ではなく、近接する公園、緑道、緑地、駅前広場、地権者敷地などすべてを包含したまちづくりを住民たちで発案しました。

“中川には花と香りのすてきな場所がいくつもあるらしい、一度いってみよう”という人を増やして、にぎわいを取り戻し、中川らしい店舗を誘致し、資産価値を高め、まちのみんながお世話する花や緑を介して、コミュニティが豊かなものになることを夢見ています。

- 緑道とつながる緑・花のラインをつくり、まちを巡る楽しさをつくりだし、人々が集まり・ふれあう交流広場を目指します。「まちの誰もが手入れやお世話できる」花壇やプランター、緑のスクリーン、ナーサリーなどを配し、まちへの愛着やまちを巡る楽しさをつくりだします。
- 四季を通じて様々な活用が考えられるローズマリーやラベンダー、タイム等ハーブを中心とした花壇を配し、景観を損ねている空き地や駐車場のフェンス部分には、ハゴロモジャスミンなどツル性の植物を這わせ花と香りのスクリーンを育て花にかこまれた「みち」づくりをめざします。
- また、近隣の公園への結節点となるひろい歩行者専用道路には、フォーカルポイントとなるような西洋ボダイジュの高木をシンボルツリーとして配し、「リンデンバウム広場」として親しまれる空間づくりや、「リンデンフェスタ」といったようなハーブとしての菩提樹を活用した新しいイベントづくりを目指します。

四季折々の花やハーブの香りに満ちたまちづくり



植栽樹種一覧	
ラベンダー・アロマティコ	100
立ち性ローズマリー	30
斑入りマートル	20
ヒソップ	20
西洋ボダイジュ	1
クレーピングタイム	200
ハゴロモジャスミン	150
アジュガ	50
アスチルベ	40
カラミンサ	40
宿根フロックス	30
カンナ銅葉	10
クリスマスローズ	10
ジャクヤク	10
シュウメイギク	5
ホスタ	5
サフラン	50
アネモネブランダ	50
斑入りピンカマジョール	30

蝶と人をいざなう香りのレインボーガーデン ～緑は暮らしのパートナー～

企画：佐久市民交流ひろばワークショップ

佐久市の中心市街地に、子育て世代待望の大型公園「市民交流ひろば」が平成25年10月にオープンしました。新幹線佐久平駅から公園までを緑の散策路として一体となし、子どもたちが自由に遊び、住民および遠方より訪れる方々にも癒しの場を提供します。ひろばの整備において「愛され、親しまれ、ともに育む公園」をコンセプトに佐久市が開催したワークショップに集まったメンバーが、公園の一部に設けられた花壇の植栽を、従来の一年草によるガーデンではなく、年々育ってゆく宿根草によるガーデンをめざし、自分たちで調べ上げた知識をもとにデザインしました。この経験はひとりひとりの大きな力になったと感じています。

コンセプト

- ・香りや季節、美しい色彩など花や緑が感じさせてくれる人の心に響く心地よさを感じよう。
- ・緑と人、生き物と人、そして人と人とが気持ちよくかかわって、幸せを感じられる場所。
- ・ここで学んだ花や緑とのかかわりを、ひとりひとりが街の中で育ててゆこう。

ねらい

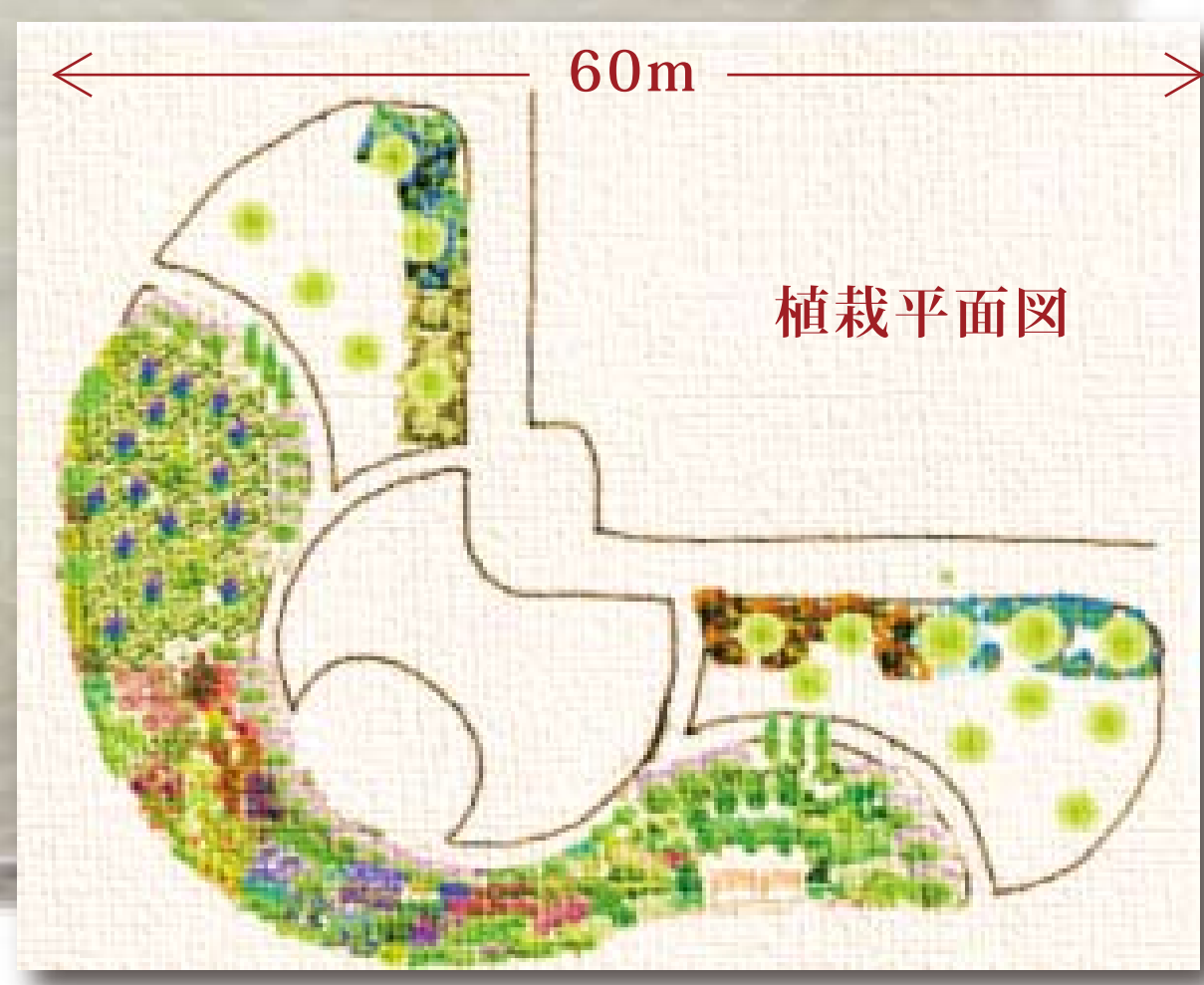
- ・駅や周辺施設利用者、買い物客、地域住民など多くの人が、心地よい緑と花々の香り、蝶や小鳥の訪れを楽しみ、人々が癒され幸福感や元氣を得られるコミュニティパークにしていきます。
- ・昔ながらの緑とのかかわりを学び直し身近に感じることによって、暮らしのパートナーとしての緑を提案します。
- ・市内に点在する小規模公園をもっと楽しく活用したり、緑と花の香り豊かなまちづくりの拠点となるよう活動していきます。

		香	蝶	4	5	6	7	8	9	10
ローマンカモミール	20	○	○							
フロックス	25	○	○							
バラ ポレロ	3	○								
ヒソップ白	30	○								
ゴールドンセージ	9	○								
ツリージャーマンダー	1	○								
梅花匂いうつぎ	2	○								
カラミンサ	45	○								
キャットミント白	10	○								
バラ プルドネージュ	3	○								
シャクヤク白	1	○								
クジャクアスター白	3		○							
ローズマリーアープ	24	○								
ブンゲンストウヒ グロボーサ	1	○								
カラミンサピンク	20	○								
ロシアンセージ リトルスパイヤー	1	○								
ブットレアイエローマジック	1		○							
キャットミント白	12	○								
ルー	10	○								
クジャクアスター紫	6		○							
ブットレア雪姫	2	○								
フジバカマ	16		○							
アリッサム サキサタイル	12	○								
チェリーセージ ホットリップス	3	○								
ハマナス白	3	○								
三尺バーベナー	20		○							
フェンネル	2		○							



写真出典：一般社団法人日本植木協会 おぎはら植物園

平成25年度第8回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト
 （環境省主催）におい・かおり環境協会賞



平成 25 年度 第 8 回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト (環境省主催) 日本アロマ環境協会賞

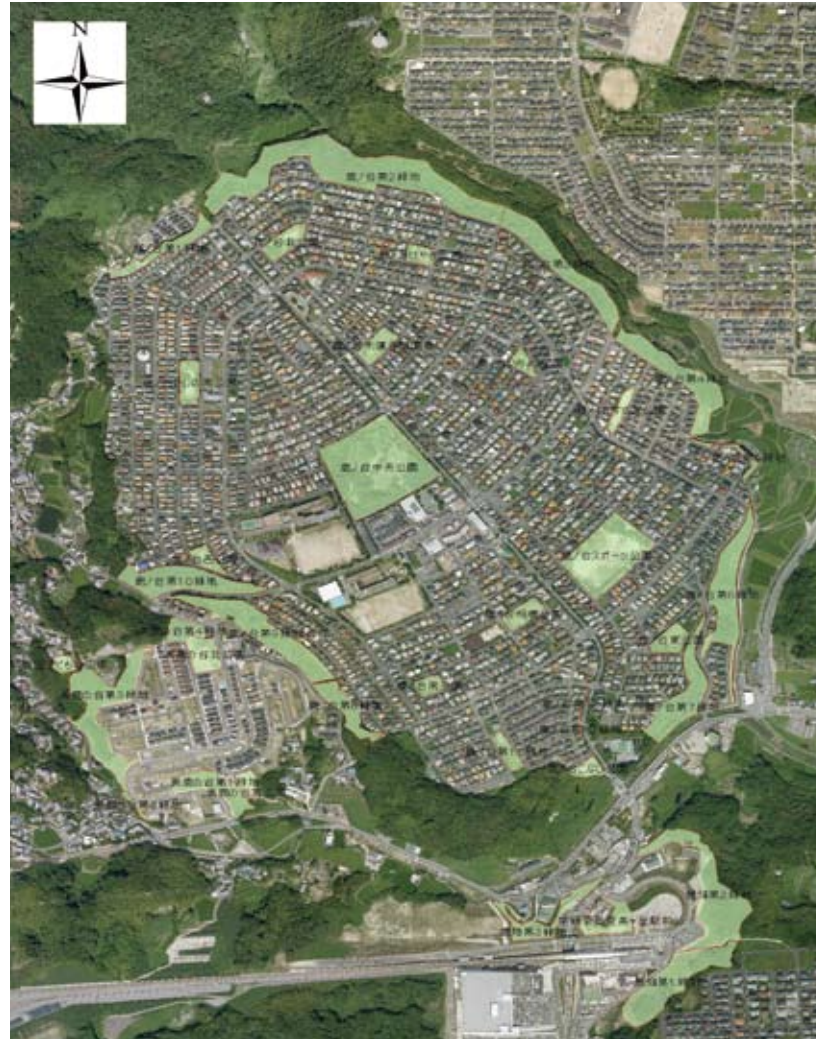
みどりと香りと花の街区づくり

申請団体：鹿ノ台自治連合会（ECOKA 委員会）

共同企画団体：奈良県生駒市みどり景観課

新規植樹種・草花の香りと花歴

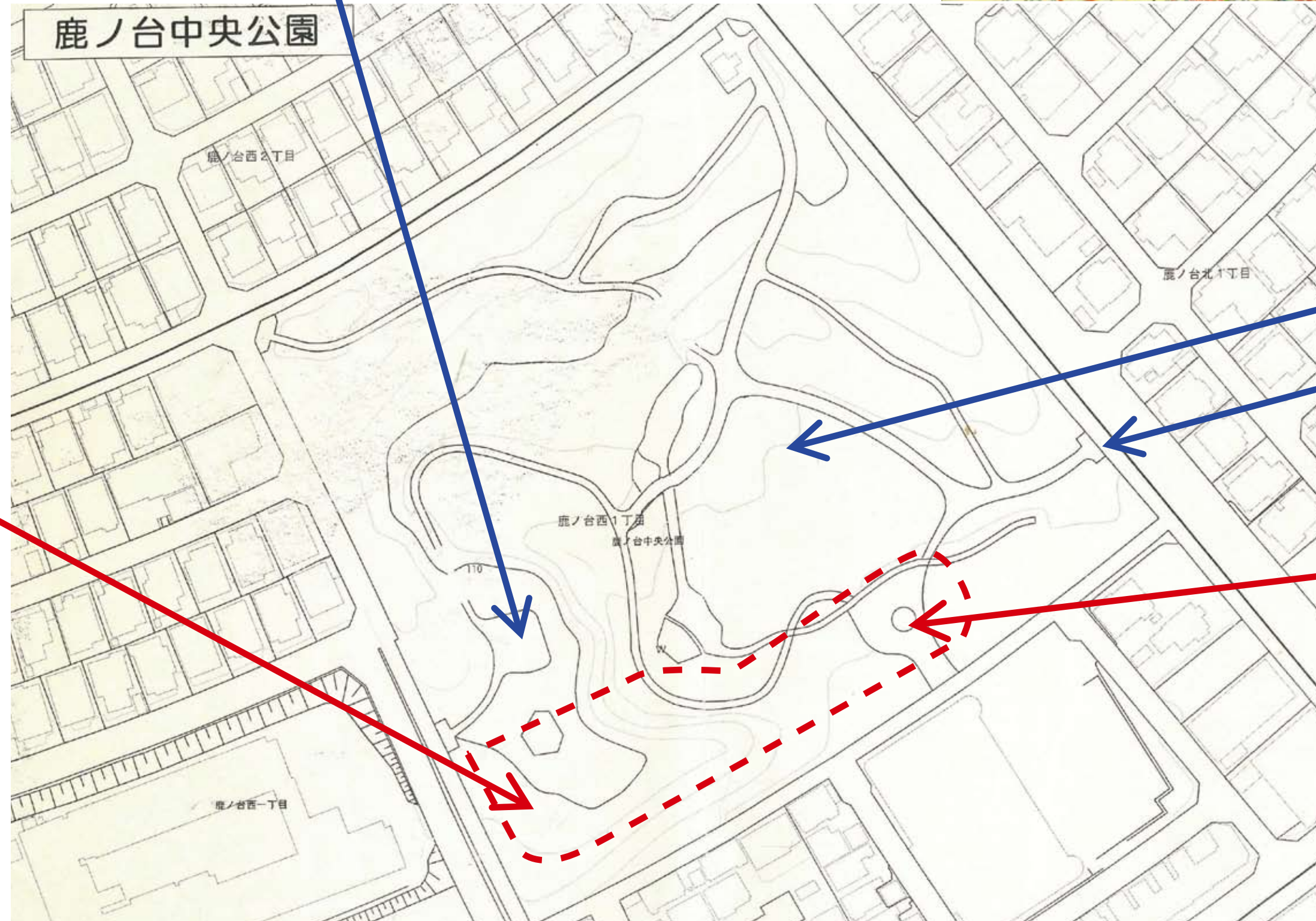
記号	樹種名	常/落	本数	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	香りの特徴
ヤモ	ヤマモミジ	落	10													柔らかい春の新緑と秋の紅葉
ソヨ	ソメイヨシノ	落	10													春を代表する香りの桜
オサ	オオシマサクラ	落	10													春を代表する香りの桜（香り強）
ヤツ	ヤブツバキ	常	5													冬季の花でメジロを呼ぶ花
ヤモ	ヤマモモ	常	5													常緑で強剪定に強い樹形/微香性
タボ	タイサンボク	常	5													芳香のある白い大型の花を咲かす
ジゲ	ジンチョウゲ	落	10													強い芳香のある薄紫の小さい花がさく
ラク	ライラック	常	5													通常芳香性のある房状の花が咲く
ラベ	ラベンダー	常	10													紫色と心地よい香りが魅力のハーブ
ペゴ	ペゴニア	1 年草	20													明るく、元気を贈るペゴニア
マゴ	マリーゴールド	1 年草	50													葉と花に強い香り
バジ	バンジー	1 年草	50													多彩な色の花と微香性
ピラ	ピオラ	1 年草	50													多彩な色の小花が咲く



地区内の花壇の現状



企画予定地の現状



企画の目的

鹿ノ台全開発面積 1 2 2 ha の内、鹿ノ台中央公園は 30000 m²を占めている。
中央公園内には人工的に常緑樹や落葉樹が混在した緑豊かな樹木に成長したが、
街の付加価値を高めるために香りの木を植栽することで公園に魅力をつける。

まちづくりのコンセプト

大規模宅造地で人工的な植栽が不可欠であることから、積極的に花と緑を中心に緑化推進を図ってきた。従前からの花壇整備と一斉清掃など美化活動に香り要素を加えて地域コミュニティを深めたい。長年の地域活動（エリアマネージメント）を踏まえ、自分たちの街を守る気持ちに香りを付加する。

香りのテーマ・コンセプト

樹木や花の香りは森林浴で体験できるが、まちなかの公園で身近に体感することでより自然環境に親しんでもらう。公園の香り、地域の香り、癒しの香りを育てる。子供たちが植物と香りとの関係性を遊びの中から学習できるように修景。加えて、地域や学校の特徴を語り継ぐ思い出の香り創りを提供・スーパーエコスクール鹿ノ台中学校との連携を図る。



植栽の配置

既存の樹木と調和を保ち、見ごろや香りの時期をずらし年間を通して樹形を整え癒しの公園づくりを実施します。
公園内の花壇は花と香りの住民と協働で花壇の総合管理を行います。

ヤマモミジ



ソメイヨシノ



大島桜



ヤブツバキ



ヤマモモ



タイサンボク



ジンチョウゲ



ライラック



1 年草

マリーゴールド



バンジー



ピオラ



ラベンダー

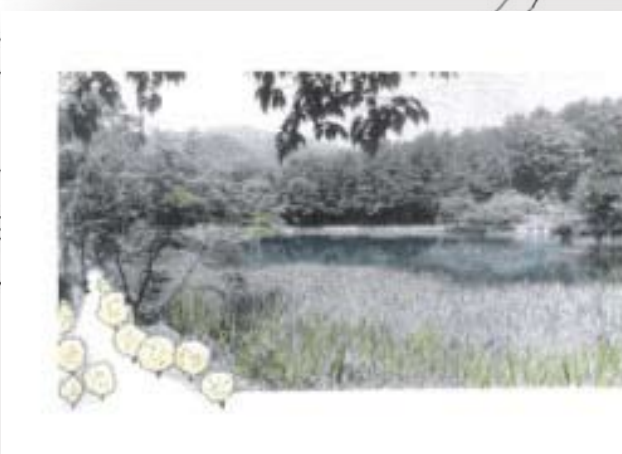


ペゴニア



平成25年度第8回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト
(環境省主催) 日本植木協会賞

バイオパーク全体計画



Eブロック



30本

30本

Dブロック



30本



30本

Cブロック



20本



10本



10本



平成 年度

縮
測
設



とんぼ広場



Aブロック



30本



30本

Bブロック



100本



100本

市道 悪戸所



写真提供元：一般社団法人日本植木協会
土湯温泉観光協会

しょうなん こ 照南湖バイオパーク

企画テーマ：大人も子供も楽しめる香りある
ビオトープパーク

この湖は、フランスの画家モネの絵を連想させるスイレンの群生と幾種類ものトンボが飛び交う、里山の湖です。この湖は、昭和40年代初期までスケート場でしたが、地球温暖化のため氷結しにくくなり、長年ひっそりと放置されてきました。

「バイオパーク」とは、この湖を里山湖として保護し、香りを通じて昆虫にふれることができる公園です。

《企画者》 特定非営利活動法人
土湯温泉観光まちづくり協議会
《共同企画者》 土湯温泉観光協会